

テクノエイド (上級)研修会

優良賞

長期臥床によって生じたインシデント

事業所名 佐久総合病院

職場 小海分院4階病棟

氏名 佐塚直樹

施設概要

- 診療科：医療療養型病棟
- 病床数：49床
- 職員数：看護師長1名、看護・介護主任各1名、
看護師13名、介護福祉士12名 計28名
- 看護体系：看護20:1 看護補助者20:1
- 看護方式：PNS＋機能別
- 南佐久地域の医療を支え、他職種が連携を図り、それぞれの専門性を発揮しながら退院支援に向けた患者支援、家族指導を実践

事例概要と課題

- 対象者 : 40代女性 右視床出血
- 対象者の状況 : 右片麻痺、ADL全介助、**離床はリハビリ時のみ**
右肘の屈曲が強く、気管カニューレを手指で押し上げ、
トラキマスク(酸素)が外れてしまうインシデントが発生



課題1 … 医療依存度が高い方への離床アプローチが消極的であり、拘縮を助長させる可能性がある

課題2 … 部署内におけるリフト操作方法の学習不足により、有効活用ができていない

課題に対する対策

課題1

現状把握のアンケート結果

- ・離床の必要性、長期臥床による影響は理解している
- ・時間的な問題等により、実践できていない



ケア時間を確保するため業務の見直し

- いつ … 午後の排泄ケア後
- だれが … 受け持ち
- どのように … リフトによる車いす移乗

課題2

- ・操作に自信がないスタッフが多数



操作技術の習得

- 数日に分け学習会を数日に分けて開催
- 学習会后、OJTでの技術確認
- 移乗時の注意点を掲示
- リフト操作は原則2人で行うことを共有

対策実施後の結果

＜スタッフの変化＞

- スケジュールの調整により確実に離床ケアが実施できた
- リフト操作に自信がついたスタッフが増え、習慣化ができた

＜対象者の変化＞

- 笑顔が増加
- 臥床時に比べ筋緊張が減少
- 右上肢可動域の拡大
- 夜間睡眠の改善
- 他者との関わり増加



臥床時の痙性、右肘の屈曲に劇的な変化は見られなかったが、手指でトラキマスクを押し上げ、外れてしまうインシデントは無くなった